

オーストラリアで体験した数々



藍住東中学校 逢坂 有晃

僕達は、オーストラリアへの派遣事業に参加し、実際に現地で色々なことを学び、体験しました。実際、外国へと行ってみると、日本では全く見られないような景色が広がっていました。反対に、日本でしか見られない景色もあるのだな、と気づきました。

僕達は、ホームステイ、現地の学校への登校、シドニーでの観光、オーストラリアで初めて見る料理を食べることなど、色々な「初めての体験」をしました。その中でも、僕が思い出深くなっているものが、シドニー観光、学校での本格的な学習、そしてホームステイです。

まず、シドニー観光です。シドニーの町並みは、とても賑やかで、色々な店や建物に囲まれているようでした。オーストラリアで有名な建物である、オペラハウスも行きました。写真で見ると数十倍の大きさや迫力を醸し出している、そのような雰囲気でした。そして、ダーリングハーバーは、テレビなどでも見たことなく、初めて見ると、綺麗でした。圧巻の景色でした。



そして、学校での本格的な授業です。日本では、英語の授業が中学校から始まり、基礎的な授業となります。ですが、小学校から、中学や高校程度の英語が飛び交っていました。初日は、小学校で授業をしました。所々、話したいことが英語で言えない時がありました。その時は、現地の小学生のパソコンを使って翻訳して会話しました。学校生活 2 日目以降は中学校、高校と一緒にいる学校に行きました。そこでは、日本の中学校では習わない単語が多かったです。配られたテキストのリーディングは、自分分からない単語になってしまうと止まってしまったりなど、少し戸惑いがありました。

最後に、ホームステイです。最初はとても緊張していました。何故なら、外国の地へ踏み入ることすら初めてなのに、その先にいる家族の方々と一緒に生活するからです。でも、ホームステイの家族の方々は温かく迎え入れてくれ、僕の緊張も少し解けました。さらに、ホームステイ先の子は、僕と同じゲーム好きでした。それも、ホームステイにどんどん馴染んでいきました。このホームステイ先で出されるご飯や、ホームステイ先の方々と行ったお店の食べ物は全て美味しかったです。その中でも特に美味しかったのが、オーストラリア特有の料理です。ピザのような生地に、レタスや細長く刻んだチキン、チーズやマヨネーズなどを入れて焼く料理です。ホームステイ先では、英語で伝えられない時は、ジェスチャーや単語の羅列などで伝えました。



僕は、最初にも書いたとおり、この派遣事業で色々な体験をしました。この事業で、これから色々な人がグローバルな人材として日本で、世界中で活躍できるようになってほしいです。僕はその「見本」として、この体験で培ったものを無駄にせず成長していきたいです。